

事業の特徴

1. リスクの統合管理



企業の脆弱性を特定し、サイバーセキュリティを強化。Strobes独自の経験やノウハウをベースにしたAIを活用しワークフローを自動化することで、セキュリティ業務の効率化を実現。

2. 複数の他社脆弱性スキャンツールアプリケーションとの連携



他社のセキュリティ対策ソフトやコミュニケーションツールなどと統合が可能。セキュリティ対策を一括で行い、効率的にリスクを特定。

3. オンライン・オンプレミスに対応



クラウドを利用しないモデルがあり、高可用性を実現。システム導入への障壁が高い企業のリスク管理に貢献。

マッチングニーズ

求める
都内企業像

- セキュリティ対策に関心のある企業
- 他社製品の代理販売に積極的なSIer
- 現在販売している脆弱性ツール製品群を企業向けリスク管理ツールに拡張したい企業
- ペネトレーションテスト（疑似ハッキング）サービスの実行プロセス基盤を求めている企業

実現
したいこと

販路拡大

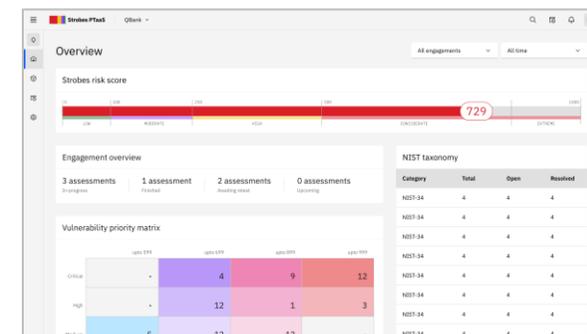
- サイバーセキュリティを強化し、日本企業をサイバー犯罪から保護したい。
- ペネトレーションテスト（疑似ハッキング）サービスの実行プロセス基盤を提供したい。

事業概要（サービス／製品）

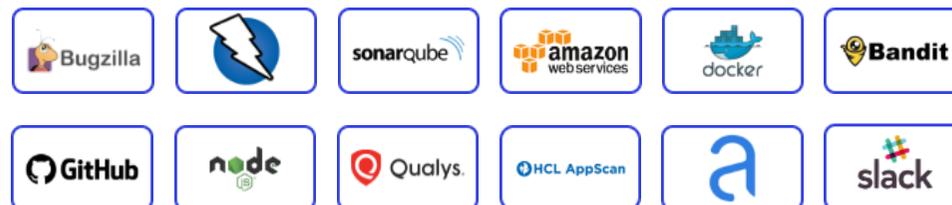
- 脆弱性管理プラットフォーム「**Strobes VM365**」を提供。
- 複数アプリケーションやファイルデータ、ペンテスト結果を統合し、AIの自動判定にかけることで、脆弱性のスコアリングを実行。リスクを定量化・可視化し、ユーザのビジネスに特化したセキュリティに関する方針の決定を支援。
- 検出した脆弱性と類似の脆弱性を自動で特定し排除。IT/開発/セキュリティ担当者の脆弱性管理業務を支援。
- 他社ツールとAPIを繋げることで、様々なツールとの連携が可能。また、他社のサイバーセキュリティ対策ソフトウェアを一括で実行可能。

Strobes VM365

脆弱性のスコアリング結果や、解決の優先度など、リスク分析結果のサマリーが表示される。



連携できる他社ツール（抜粋）



事例

実施概要	accentureや各国のアクセラレーターと連携
詳細	<ul style="list-style-type: none"> accentureはサービス導入パートナーの1社 accenture(オーストラリア拠点)と協業し、セキュリティソリューションを提供 オーストラリアのCyRiseやシンガポールのICE71などのサイバーセキュリティアクセラレーターと提携 
関連URL	詳細 : https://strobes.co/
実施概要	アメリカの金融機関（社名非公開）に同社サービスが導入
詳細	<ul style="list-style-type: none"> Strobes VM365を導入し、脆弱性管理を実施 既存のセキュリティソフトの非効率を改善し、現行のセキュリティ対策の欠陥を特定 資産管理ツールを用いて、資産の分類整理を実施 また、資産の重要性に基づいた資産評価を実現 Ptaaas(Pentest as a service)モジュールを導入し、社内のコンプライアンス評価の計画的な実行を支援 
関連URL	詳細 : https://strobes.co/cert-in-audit/

会社概要

業種分類：情報通信業



HP : <https://www.strobes.co/>

日本への進出体制

日本支社有無	無	日本語対応	可
日本での検討状況	業務委託契約にて、同社の東京進出を支援するレップが東京に在住 神田淡路町にて合併会社を設立予定		
その他			

会社概要

社名	Strobes Security		
会社HP	https://www.strobes.co/		
所在地	 アメリカ/テキサス		
設立年	2019	従業員数	約50名
資本金	-	出資	Chitra Holdings Inc, CyRise 他
主な事業内容	企業のシステムリスクを分析・管理するサーバーセキュリティプラットフォームの提供		
事業パートナー・主要顧客	DELL, Accenture, LARSEN&TOURBO, ZOHO, LEGALZOOM 等		
海外展開状況	オーストラリア、シンガポール、インド、日本で活動		
資金調達実績	4回の資金調達ラウンドを通じて、合計で約76.77万ドルを調達		